

令和3年度 第3回鹿児島市清掃事業審議会 会議概要

【日 時】

令和3年12月16日（木） 13時57分～15時27分

【場 所】

南部清掃工場 管理棟2階研修室

【出席委員】

井上委員（会長）、鬼塚委員、川畑（宏）委員、川畑（義）委員、田尻委員、
根建委員、百武委員、三原委員、宮竹委員、柳井田委員

【会 次 第】

- 1 開会
- 2 会長あいさつ
- 3 議題
 - (1) 家庭ごみマイナス100gの取組状況について
 - (2) 第四次一般廃棄物処理基本計画（素案）に係る意見への対応について
 - (3) 第四次一般廃棄物処理基本計画（素案）に係るパブリックコメント手続きの実施結果について（報告）
- 4 その他
- 5 閉会

【議事概要】

○家庭ごみマイナス100gの取組状況について

委 員：金属類、剪定枝の分別収集が家庭ごみの削減に大きく影響しているようだが、これらが多かったのか。

事務局：もやせないごみの金属類、もやせるごみの剪定枝や草といった草木類について組成調査を行った結果、分別収集を始めたことで大幅に減少している。

委 員：9月から来年3月まで、家庭ごみ量の予測値が横ばいで1gも減っていない。CMやインターネット広告をしているのに、1gも減らないと思われたのはなぜか。

事務局：予測値は、3年度も新型コロナが収束しないだろうと去年推定したものであるが、最近では新型コロナの影響も少なくなっているため、予測値より下がっていかばと思っている。

○第四次一般廃棄物処理基本計画（素案）に係る前回会議での意見への対応について

委員：『数値目標の設定根拠となるロジックの説明が必要だ。』という意見に対して、今後資料に追加することだが、市が目標を設定したから、みんなでやりましょうというのと、理由を理解した上で、全員で力をあわせましょうというのでは、全然説得力が違う。現時点で素案はあるのか。

事務局：5つの数値目標として、市民1人1日当たりごみ・資源物排出量、家庭ごみ量、資源化率等があるが、この数値目標を設定した根拠は記載を予定している。数値としては、過去の実績や今後の人口推計等を踏まえ出しているが、その根拠を、計画に盛り込んでも中々理解をするのが難しいと考えているので、なぜこの目標の項目を定めたのかは、記載していきたい。ページ数の問題もあり、内容は検討中のため、現在素案は持っていない。毎年度の数値目標に対する実績の原因分析等は、その都度審議会で協議していきたい。

委員：まごころ収集について78%の人が利用したいと回答しているとあるが、何に対しての78%か。また要件は何か。

事務局：市民意識アンケート調査をおこない、2,812人に回答いただいた。その中で、要件に該当した場合にまごころ収集を利用したいかという質問に対して、77.6%の方が、要件に該当すれば利用したいということであった。まごころ収集の要件としては、居宅サービスを利用されている方で、要介護1以上、身体障害者の方の場合は1級または2級、精神障害者の方であれば1級などがある。

委員：計画の中に、鹿児島市のCO₂の排出量への影響を取り入れては。

事務局：北部・南部清掃工場での令和4年度から10年間のCO₂の削減量は記載しているが、並行して策定中のゼロカーボンシティかごしま推進計画で、本市としての取組や目標の策定を進めているところである。

○第四次一般廃棄物処理基本計画（素案）に係るパブリックコメント手続きの実施結果について

委員：外国人の方々の分別に対する意識を、現場としてはどう感じているのか。

事務局：具体的な取り組みとして、鹿児島市で日本語を学んでいる外国の方々に対して説明会等を開催している。鹿児島市に転入してくる段階で、ごみ出しカレンダー等で協力を働きかけてはいるが、そこで初めて分別を意識したというような声が多く、まだまだ周知の必要があるという認識を持つとともに、外国人の方から、自分も協力したいという声をいただくこともある。

委員：ごみ出しカレンダーの外国語版はあるのか。

事務局：カレンダーの多言語化には至っていないが、多言語に対応した、カラー刷りA3用紙での分別案内とごみ分別アプリ「さんあ〜る」のインストール案内はしている。ごみ分別アプリのダウンロード実績としては、先月末現在で、英語207件、韓国語9件、中国語(簡体)37件、中国語(繁体)1件、ベトナム語80件、ネパール語が0件となっている。